

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

平成22年度二本松市一般会計補正予算について

問 定住・二地域居住促進事業の具体的な内容はどのようなものなのか。

答 NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会に対する補助であり、空き家の古民家修繕が2件、モニターツアーの開催が2回で、1回につき5名程度を予定しており、更にPR活動費を計上している。

問 車両管理運営経費において、車両購入費が計上されているが、具体的にどのような内容なのか。

答 日本赤十字社による補助金で購入するものであり、その補助額は1,164,000円であり、ライトバンを購入する予定である。災害救護活動用車両であるが日常業務にも使用できる。



机上審査の様子

市民産業常任委員会

平成22年度二本松市国民健康保険について

問 国民健康保険税の滞納額が年々増加しており、納税者間で不公平となっているのではないかと。

答 国民健康保険税は、被保険者が負担することとなり、被保険者の税額に影響するが、滞納分も含めて収納率向上に努力する。

問 現状の厳しい経済情勢を考慮し、緊急的に一般会計からのいわゆる法定外繰入を行う考えはないのか。

答 予算執行にあたり年度中に急激な医療費の増嵩が発生した場合、その段階において法定外繰入を検討した経緯はあるが、一定の市民の方が加入する国民健康保険に対して法定外繰入を行うことは、慎重にならざるを得ない。



農業用施設整備 用排水路（中ノ沢）戸沢地区の説明を受ける様子

6月16日に付託された各議案は、6月18日から23日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日24日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。
各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

建設水道常任委員会

道路橋補修事業・道路照明整備事業について

問 国道4号に架かる道路橋の補修工事については、どのような補修を行うため、1千万円の工事費の増額となったのか。また、この道路橋については、どの程度利用されているのか。

答 当初、橋桁の塗装及び舗装の打替えのみを計画していたが、点検の結果、昭和47年に施工した橋梁で、転落防止柵の高さが0.9mであり、現在の基準である1.1mを満たしていなかったことから、転落を予防するため、補修工事を行うものである。

なお、交通量の調査を実施しており、調査の結果、平日の午前7時から午後7時までの12時間において、歩行者22名、自転車15台、動力付二輪車15台、乗用車13台、軽貨物1台が道路橋を利用していた。

問 道路照明の設置工事費の1千万円の増額については、どのような内容であるか。

答 地球環境に負荷の少ないLED照明で50灯の設置を行うものであり、主に整備率の低い安達、岩代、東和地区及び二本松地区の国道459号沿いを考えている。なお、50灯の内訳としては、新設40灯、交換10灯を予定している。



JR軌道横断配水管布設替工事の説明を受ける様子

文教福祉常任委員会

平成22年度二本松市一般会計補正予算について

問 東和認定こども園の建設場所が東和小敷地内になった経過と、地元の理解はどうなっているか。

答 教育施設ゾーンとしての一体的な整備により学校との連携が図られる等の理由から、東和小敷地内を候補地として、各種団体の代表等で構成される東和地域保育所幼稚園統合準備委員会に示した。

その後、各団体での協議を経て同委員会で決定されたものであり、建設場所について地元の理解は得られたものと考えている。

問 二本松市民会館の屋根修繕は数年前にも行っているが、前回と今回の違いは何か。

答 前回は平成16年度に屋根の防水工事を行ったが、今回は雨漏りしている部分の修繕を行うものである。



東和認定こども園建設場所の説明を受ける様子